

事務事業 No./名称	■サービス部門 □支援部門 ことども-27 あおぞら園管理運営事業				ザイムスコード及び個別事業名	
	主管課 発達支援室		関連課 ことどもみらい課・保育課・ことども相談課・市民健康課・教育指導課		0080	あおぞら園運営事業
分野名	健康福祉				0081	あおぞら園管理事業
目標 (目標値)	障害児の専門支援機関として、一層の機能充実を図っていく。					
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考		
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯			
運営資源 状況	決算値	34,582千円	48,957千円	・一般財源の▲表示は、国・県からの施設給付費等が人件費を含んでいるため		
	(国・県)	67,692千円	60,589千円			
	(負担金等)	5,043千円	5,454千円			
	(一般財源)	▲38,153千円	▲17,086千円			
	人員配置数	18.6人	23.8人			
	人件費	167,296千円	223,560千円			
	協働の パートナー					
事務事業 運営経費	総事業費	201,878千円	272,517千円	年間延べ利用数 ・H20年度 8,677人 (知的・地域リハ・言語の延べ合計) ・H21年度 5,909人 (知的障害児施設あおぞら園の延べ合計)		
	市民1人当りの経費	1,143円	1,544円			
	対象者1人当りの経費	34,164円	31,407円			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名					
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・利用希望児童の増加による、待機児童の発生。 ・ボランティアの導入を含めた人材育成機能充実のための、全体のプログラム作成の必要性。				
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・待機児童対策としてグループ活動を創設し、対応した。(週1回、午前中の活動) ・人材育成機能充実のためのプログラムを作成した。(①施設内での職員資質向上のためのプログラム②関係機関との連携を推し進めるための研修プログラムの2点に整理して作成)				
	未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・ボランティアの幅広い活用について具体的な検討をしていく必要がある。 ・利用児童、その家族の抱える問題が多様化していることから、それぞれの状況に応じた柔軟な支援プログラムの提供は一層重要な課題となっている。				
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・人材育成機能のさらなる充実を目指して、作成したプログラムを本格稼働させていくこと。(その中で、ボランティア活用の検討をすすめる。) ・平成21年度に設置された発達支援室の中の各専門職種間の連携強化をさらに推し進めていきながら、多様な親子、家族の課題に対応していきたい。				
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)		
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了						
評価結果	改善の必要性	発達支援室全体で、業務内容を精査し、効率的かつ効果的な支援内容を検討していく。		評価結果	改善の必要性	発達支援室全体の業務量、内容を勘案し、効率的かつ効果的な支援体制の検討、整備をしていく。
A	有			A	有	
課長名		安田 明		部名・部長名		ことどもみらい部 佐藤 尚之